

住民等における防災活動のリーダーとなる
人材の育成・活用に係る論点(案)

【第 1 回専門調査会における指摘】

- 継続して実施していくためには、災害のみならず、より身近な犯罪等を含めた、幅広い危機への対応という観点からの取組みが必要ではないか
- 災害の各段階に応じた体系的な研修が必要ではないか(現在実施されている研修においては偏りが見られるのではないか)
- 総花的な研修だけでなく、受講者のターゲットを明確にした専門性のある研修も必要ではないか
- 情報共有とネットワーク化を進める中で研修等の人材育成を充実していくべきではないか
- リーダーとして積極的に取り組んでもらうためには何らかのインセンティブが必要ではないか

【地方公共団体に対する調査結果】

- 一般住民の防災意識が希薄である
- リーダーとなる人材の不足、固定化・高齢化
- 研修会を受講することはできるが、実践の場がない
- 研修の場においては、講義だけではなく、図上訓練を取り入れるなどの工夫が必要
- (行政の側に)対応できるだけの職員がいない、ノウハウ・経験不足
- 行政とボランティアの災害時の役割分担を平常時から調整し明確にしておかなければならない